

C670M 落下ダーツ衝撃試験機

C670M 落下ダーツ衝撃試験機は、特定の高さでの自由落下ダーツの衝撃でサンプルの 50%が損傷した場合の、プラスチックフィルムまたはシートの衝撃質量とエネルギーの測定に適しています。

製品の特徴 ^{注1}

- メニュー画面、カラータッチスクリーン操作、試験パラメータの設定が便利で高速です。
- 2つの試験モード A と B があり、試験ステータスは自動で判断されます。
- 落下ダーツは、自動的に解放できる電磁吊り下げの原理を採用し、人的要因によるシステムエラーを効果的に回避します。
- 空気圧サンプルクランプ、手動とペダルデュアルスタートモードを搭載し、観察ランプを内蔵した独特な設計の試験機です。便利で高速だけでなく、正確な操作をします。
- プロフェッショナルコンピュータソフトウェアには、試験結果のマルチユニット表示、試験行程のグラフィック表示、出力、印刷機能を備え、結果を明確かつスピーディーの表示します。
- 試験機には、小型プリンターと RS232 インターフェースを標準装備し、システムとコンピューター間の外部接続とデータ転送を便利に行えます。



試験原理

試験を始める際、最初に試験方法を選択し、初期質量と Δm 値を推定して試験を実施します。最初のサンプルが損傷した場合は、落下質量を減らすために重量 Δm を使用する必要があります。最初のサンプルが壊れていない場合は、重量 Δm を使用して、試験用の落下質量を順番に増やします。つまり、落下質量の重りの重量は、前のサンプルが損傷しているかどうかで加減を決定します。20個のサンプルを試験した後、損傷したサンプルの総数が計算されます。nが10に等しい場合、テストは完了します。nが10未満の場合は、サンプルを補充した後、nが10に等しくなるまでテストを続けます。nが10より大きい場合は、サンプルを補足した後、損傷していないサンプルの総数が10になるまでテストを続行します。最後に、システムは影響の結果を自動的に計算します。

参照基準 ^{注1}

ISO 7765-1-1988, ASTM D1709, GB/T 9639.1-2008, JIS K7124-1

試験アプリケーション

| | | |
|------------|------------------------|--|
| 基本アプリケーション | フィルムとシート | 厚み 1 mm 未満のプラスチックフィルム、シート、複合フィルムの耐衝撃性試験に適用可能です。例えば PE フィルム、ラッピングフィルム、PET シート、各種構造の食品包装袋、厚手の包装袋などです。 |
| | アルミホイル、アルミプラスチック複合フィルム | アルミホイルやアルミプラスチック複合フィルムの耐衝撃性試験に適しています。 |
| | 紙と板紙の試験 | 紙や板紙の耐衝撃性試験に適しています |
| 追加アプリケーション | ドロップボール衝撃試験 | サンプルのドロップボール衝撃試験に適用可能です。サンプルを落下ボール衝撃試験固定具に固定し、特定の品質の落下ボールを特定の高さから落下させ、サンプルに衝撃を与えます。サンプルの損傷をチェックすることにより、耐衝撃性を判断できます |
| | ショルダーライニング衝撃試験 | ショルダーライニングの落下ダーツ衝撃試験を行えます。特別な試験設備にショルダーライニングサンプルを置き、特定の高さからショルダーライニングサンプルに衝撃を与える特定の材質のダーツヘッドを選択し、サンプルの損傷を確認してサンプルの耐衝撃性を判断します |

技術パラメータ^{注2}

| 項目 | パラメータ |
|-----------|---|
| 測定方法 | 方法 A、方法 B (オプション) |
| 試験範囲 | A 方法 : 50-2000g B 方法 : 300-2000g |
| 重量精度 | +0.5% |
| サンプルクランプ | 空気圧 |
| 空気源プレッシャー | 0.6 MPa (ユーザーにより作成) |
| 給気接続 | Φ8mm ポリウレタンパイプ |
| サンプルサイズ | > 150 mm x 150 mm |
| 電源供給 | 220VAC 50Hz / 120VAC 60Hz |
| 重量 | 70 kg |
| 規格 | 方法 A : 500mm (長さ) × 450mm (広さ) × 1320mm (高さ) 方法 B : 500 mm (長さ) × 450 mm (広さ) × 2160 mm (高さ) |

製品装備^{注1}

| | |
|-------|---------------------------|
| 標準構成 | メソッド構成、タッチスクリーン、マイクロプリンター |
| オプション | 方法 B の構成、専門のソフトウェアと通信ケーブル |

備考

機械の空気源接点は $\Phi 8\text{mm}$ ポリウレタンパイプです。 空気源はユーザーが準備する必要があります

注 1 : 製品の機能、参照規格、および構成情報には、「技術指標」の特定のマークが付いています。

注 2 : 表のパラメータは、関連する実験室環境基準の要件と条件に従って、Labthink ラボの専門オペレーターによって測定されたものです。

弊社は、製品の性能と機能の革新・改善に取り組んでおります。このため、製品の技術仕様はその都度変更されます。上記の情報は通知される場合があります。最新情報については、www.labthink.com にログインしてご確認いただけます。弊社は内容の変更および最終的な解釈の権利は留保します。